



この情報紙は栃木県建設業協会がお届けしています

とちぎを楽しもう

ぶらっと

# Bratto



## 佐野・足利特集

- 地元で根付く栃建協会員行きつけの  
本当は教えたくない佐野・足利グルメスポット
- 地元栃建協会員が選ぶ  
佐野・足利裏スポット巡り

- どこにあるのか日光東照宮御神体  
謎シリーズ Vol.3
- 道の駅 どもんなか たぬま
- あしかがフラワーパーク
- 職場の“花”から“戦力”へ  
頑張れ「ドボジョ」!



2013 Oct vol.04





**うどん 野村屋**  
 TEL 0283-22-0396  
 住 佐野市相生町2819  
 営 平日 11:00~(LO)19:15  
 土日祝 11:00~(LO)19:30  
 第4水曜日 11:00~(LO)14:30  
 休 木曜日(祝日は営業)



うどん日本一を競う  
 「U-1 グランプリ 2013」で  
 佐野名物「耳うどん」が  
 売上部門8位に!!

正月三が日に悪魔の耳になぞらえて「耳うどん」を食べる奇習で、悪魔の耳を食べてしまえば我が家の話を悪魔に聞かれないのでその年は無事息災で過ごせる。

**手打唐沢うどん そば かさはら**

TEL 0283-22-3707  
 住 佐野市堀米町2206  
 営 11:00~14:00  
 16:00~19:00  
 休 火曜日



大根そばとは、そばとほぼ同じ形に切った大根をゆで、そばを混然一体に混ぜたものです



大根そば 650円

かさはらの大根そばは、訪れた人のほとんどが注文するほどの人気商品です。100円アップでできる、大根そば大盛も人気です。麺は、大量の注文をまとめて茹でるため、少しやわらかめです。一緒に茹でた大根の千切りがシャキシャキして蕎麦との歯応えの差を楽しめます。そばつゆは優しい味で、そばをたっぷり浸けるようになっています。大根そばができたキッカケは、お腹をいっぱいにするために大根を混ぜたことが始まりなのだそう。

**味噌まんじゅう 新井屋** (佐野本町店)

TEL 0283-22-9069  
 住 佐野市本町2942  
 営 9:00~18:30  
 休 月曜日(祝日は営業、翌日休み)



「味噌まんじゅう」は、初代の野部林吉が考案した配合で作られた秘伝のみそまんじゅうです。味噌はあくまでもおまんじゅう全体の味を調えるために隠し味程度に使用してありますので、はっきりいって、味噌の味はあまりしません。全国には数多くの『味噌まんじゅう』がありますが、当店のものはオリジナルの味噌まんじゅうです。昭和4年の創業時より、変わらぬ味を守り続けています。



耳うどん 740円

テレビにも取材されました

朝日建設(株) 藤沼正人さん



株式会社 久保田組 久保田彰彦さん

丸山建設工業の専務の奥さんが毎日煮込んでいます



もつ煮 550円

**もつもつ** テイクアウト

TEL 0284-41-8399  
 住 足利市山川町869 (丸山建設工業敷地内)  
 営 10:00~18:30  
 休 日曜日



丸山建設工業(株)の敷地内にあるもつ煮のお店。女将は専務の奥さんです。建設業の傍らに煮込んでいます。テイクアウトのみです。

**地元根付く 栃建協 本当は教えたくない**

**会員行きつけの 佐野・足利グルメスポット**

**炭火焼肉 あぶり屋**

TEL 0283-62-2129  
 住 佐野市田沼町817-8  
 営 11:30~14:00 (LO13:30)  
 17:00~23:00 (LO22:00)  
 休 月曜日(祝日は営業、翌日休み)



ポークソテー 280g 1,500円

あぶり屋名物 ポークソテー

(株)落合土木 落合充樹さん

ホーエ豚という種類の肉で非常に柔らかいです。通常、ポークソテーといえば、ニンニクが多く使われていますが、特製の隠しダレは柑橘系の風味が効いていて、サッパリといくらでも食べることができます。



**めん割烹 なか川**

TEL 0284-41-2322  
 住 足利市通2-2659  
 営 11:00~21:00  
 休 火曜日(祝日は営業)

相田みつを ゆかりの店

天ぬき御膳 2,000円



(株)金子建設 金子勇さん

相田みつを先生がなか川へ最後に尋ねて来た時、なか川の4代目に向かって「ここが私の出発点」と、幾度となく語ったそうです。人間・相田みつをが食べていた料理を楽しめる店です。一番人気の「相田みつををオススメ御膳」をどうぞ。私は「天ぬき御膳」を食べながら日本酒をいただきました。



古き良き古都足利を見渡すパノラマビューを楽しむながらの食事は最高です。昼夜を問わず、家族で、仲間同士でどうぞ。私はビアガーデンを利用しています。

**石川や菓子店**

TEL 0283-62-0320  
 住 佐野市橋本町1773  
 営 8:00~18:00くらい  
 休 月曜日(2月は無休)  
 ※「しんこまんじゅう」がなくなり次第、営業終了



2色(つぶあん)80円

3色(こしあん)80円



食べると1年を無病息災で過ごせる

篠崎建設(株) 荒井良昌さん

食べると1年を無病息災で過ごせるといわれる。佐野市田沼町のしんこまんじゅう。毎年3月に行われる一瓶塚稲荷神社(いっぺいづか・いなりじんじゅ)初午祭の名物です。起源は、一瓶塚稲荷の境内で売られていた土産まんじゅうだったといえます。それが、材料の「上新粉」と「信仰」にひっかけてしんこまんじゅうと呼ばれるようになったとか。上新粉を練って作った皮は、柔らかすぎず固すぎず。その中にほどよい甘さのあんこが詰まっています。つぶあん、こしあんがあります。見分け方は2色ちよんちよんと色付けされているのがつぶあん、3色がこしあんです。しんこまんじゅうはもちもち感が特徴で一日で硬くなってしまいます。

**イイダ食品**

TEL 0284-41-8359  
 住 足利市本城2丁目1791  
 営 10:00~19:00  
 休 日曜日

(株)岡ノ谷組 岡ノ谷欣也さん



地元の建設業者が作るもち米を使用



草もち 1個 120円

美人弁天の先の三差路を西に入ったイイダ食品の人気商品「草もち」は、ヨモギ100%の深い緑色と、ほのかに香る若草の香りが食欲をそそります。地元の建設業者が作るもち米とうち米をブレンドして弾力となめらかさを出した草もち、「あん」と「きな粉」の2種類。評判を聞いて、桐生、太田、佐野、岩舟からも注文が入るといいます。「本物はやっぱり違う」。「その日のものは、その日のうちに」をモットーにしており、電話による予約が必要です。1個120円。



## 佐野にもあった「東照宮」



1616年に死去した徳川家康の遺体はまず久能山に埋葬された後、一周忌をもって日光に移されましたが、その背景には当時の密教の影響があるといわれています。

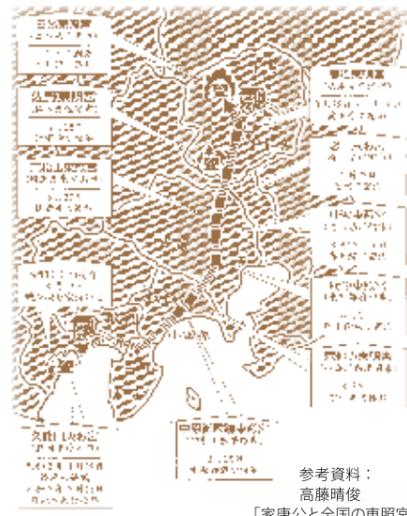
日光は久能山と富士山を結んだ線の延長上であり、家康の魂は久能山から日光へ、富士山を

運ばれた、というわけです。ここで言う富士山は「ふじのやま」であり、それは「不死の山」に通じます。すなわち、家康の魂は日光へ運ばれることによって「不死の存在=永遠に生きる神」となって日光に祀られたのです。

また、江戸と日光を結ぶ線が北から約6度傾いており、これは江戸から北極星を眺めた方向です。「北極星が宇宙の中心で、すべての星は北極星を中心に回っている」というのが妙見信仰と呼ばれる密教の考え方。宇宙の中心である天帝が北極星であり、その北極星の周りを回る北斗七星を天帝の乗り物としたのです。そして、北極星に向かう道が「北辰の道」で、神仏だけが通れる道です。ここを、神となった家康が通るのです。

久能山に埋葬された家康は、久能山から富士山を経て永遠の存在(=神)となって日光東照宮に「東照大権現」として祀られ、東照大権現となった家康の魂は、神だけが通行できる「北辰の道」を通過して江戸に戻り、江戸を鎮護する。このような考えに基づいて日光に安置されたのです。

家康の遺骸は久能山から日光へ遷座され、そのルートにはのちに東照宮が勧請(かんじょう)された。



参考資料：高藤晴俊「家康公と全国の東照宮」

## 田中正造

天保12(1841)年11月3日、佐野市小中町(旧旗川村)生まれ。明治23年、衆議院議員に当選、足尾銅山の鉱毒問題を繰り返して国会で取り上げ、被害民を救うために努力。明治34年には死刑覚悟で天皇に直訴、大正2(1913)年、71歳で世を去った。

坂本龍一さんも感銘、正造の「エコな認識」  
「真の文明は 山を荒らさず 川を荒らさず 村を破らず 人を殺さざるべし」

おすすめルート

### 田中正造墓所(惣宗寺境内)

佐野市金井上町2233  
TEL 0283-22-5229



田中正造分骨地の一つ。墓石は正造が愛した自然石で、渡良瀬川流域産のものを使い、足尾を向いています。直訴の報を伝え聞いて感銘を受けた石川啄木の歌碑もあります。

### 佐野市郷土博物館

佐野市大橋町2047  
TEL 0283-22-5111



展示室には、直訴状をはじめ遺品など、正造翁関係の資料が展示されています。

### 田中正造旧宅

佐野市小中町975  
TEL 0283-24-5130



正造の生家は、南側の県道に面して表門、右側に2階建ての隠居所があり、奥に母屋と土蔵があります。隠居所は公民館として使用された時期もありました。

### 浄蓮寺

(田中家累代の墓所)

佐野市小中町998  
TEL 0283-24-2843



田中家累代のお墓があります。正造の師・赤尾小四郎家のお墓もあります。

### 田中正造誕生地墓所

佐野市小中町963-1



正造分骨地の一つで、勝子夫人と共に供養されています。墓石の題字は友人・島田三郎のもの。正造の養父は小中出身の歴史画家・小堀駒音によるものです。

### 日本で唯一「美人証明」を出す神社



### 美人弁天

足利は昔から織物の町で、美人の多い町といわれていました。「足利の町を訪ねれば、いにしえ忍ぶ東の京都」と言われ、西条八十作詞の「足利音頭」の中には、「足利来るなら織姫様の…、嫁に持つなら、足利むすめ、肌はやんわり…」と歌われています。美人弁天は別名「なで弁天」とも呼ばれています。美人弁天をなでることにより、「健康・長命・美」のご利益が得られると言われています。訪れると「美人証明」がいただけます。

### 鎌倉時代の面影を今に伝える



国宝

### 鏝阿寺

足利市家富町2220  
TEL 0284-41-2627

平成25年8月7日、本堂が国宝に指定されました。鏝阿寺は、もともとは足利氏の館であり、現在でも四方に堀と土塁が廻っています。東西南北の橋を渡らないと入れません。南の太鼓橋を渡って、大きな楼門をくぐり、正面の本堂へと続きます。境内は四季折々の草木があふれ、数多くの文化財が点在しており、節分の夜には鑑行列もあります。

### 悪縁を切り、良縁を結ぶ

織姫神社  
足利市西宮町3889  
TEL 0284-22-0313

門田稲荷神社  
足利市八幡町387  
TEL 0284-71-0292



足利織姫神社は1300年の歴史を持ち、今では産業と縁結びの神様として広く市民に親しまれています。縁結びの神様「はたがみ織姫」こと「ひめちゃん」に一年の元氣や、幸せとの縁結びをお願いしましょう。一方、1056年



に源義家が戦勝祈願のために創建したと伝わる下野国一社八幡宮の敷地内にある門田稲荷神社は、日本三大縁切り稲荷で知られています。縁切りの神様「門田みたま」こと「たまちゃん」は災難や病氣との縁を切ってくれます。

## 佐野・足利 裏スポット巡り

あなたはいくつ探せますか？

## どこにあるのか日光東照宮御神体

謎 Vol.3

もちろん、反論反証もたくさんあることを付け加えます。さて、この謎には諸説ありますが、定かではありません。ここが謎の面白さです。



▲栗山東照宮社殿

【位置関係図】



東照大権現の御神体だけは守らねばと、御神体を別の場所に移す計画が立てられていた。すぐさま屈強な若者が集められ、その若者によって御神体を会津若松の鶴ヶ城へ移すことを実行するにいたった。闇夜に乗じて、若者一行は御神体を背負い、日光東照宮を出発。現在の野州原林道を抜け小真名子山を登り、富士見峠から栗山野門へと下って行ったが、会津はまだ遠かった。しかしその時、事態を嗅ぎつけた新政府軍の追っ手に追いつかれ、若者たちは無残にも皆殺しにあつてしまった。追っ手は必死になって御神体を探したが見つからなかったとか。一部始終を目撃していた野門集落の人々は若者を丁寧に弔い、と同時に御神体はそれ以降、昭和に至るまで栗山野門の片隅で人知れず密かに守られ、暫くの眠りにつくこととなった。

昭和45年、当時の栗山野門に小さな社殿が有志によって建立されました。栗山東照宮と命名され、何とその御神体、これこそが戊辰戦争当時日光東照宮から運び出された東照大権現御神体なのです、という説があります。ですから、日光東照宮には東照大権現御神体はありませんということになります。

実は、前述の全国東照宮連合会加盟神社48社以外、もう一つ「東照宮」と名の付く小さな神社がこの栃木県内、しかも、日光市内にあるのです。それが栗山地区野門にある栗山東照宮です。この御神体が本物、正真正正の日光東照宮にあったはずの東照大権現御神体であるといわれています。ではなぜここにあるのか？

慶応4年すなわち明治元年、千支で言えば戊辰の年、戊辰戦争宇都宮城攻防戦に勝利した新政府軍の次なる戦の舞台は日光だ。かたや、逃げ延びた旧幕府軍は徳川幕府の大聖地・日光山に立てこもり、新政府軍を迎え撃つ準備をした。戦ともなれば日光山は火の海と化すのは間違いない。日光山の僧侶たちは命を賭けて両軍の説得に当たり、日光山を戦火から守ろうとした、日光山での戦の阻止に動いていたのだ。結果、新政府軍の板垣退助、旧幕府軍は大島圭介が説得に応じ、辛うじて日光山での戦は阻止されたのだが、一方では、日光山が万が一の火の海になった場合でも、何としても



▲県道から野門への入口



▲栗山東照宮社殿入口鳥居



「栃建協(とちけんぎょう)」: 一般社団法人栃木県建設業協会の略称。各地域に根付いている建設業者が情報をお届けしています。



## 道の駅 どもんなか たぬま



- 定休日 毎週 水曜日  
※1月1日・2日  
※水曜日が祝日の場合は営業
- 問い合わせ 道の駅 どもんなか たぬま  
〒327-0313  
佐野市吉水町366-2  
TEL0283-61-0077  
http://domannaka.co.jp/

北関東道沿線上で唯一の足湯オープン!



たぬま温泉  
の足湯  
※ご利用無料

▼農産物直売所「朝採り館」



ユニークな駅名は、佐野市の田沼地区に日本列島の中心地があるからです。日本列島の東西南北の基準点を線で結び、その線が交わる中

心点が佐野市(旧田沼町)にあります。まさに「どもんなか」の街なのです。佐野市は万葉集にも詠われた歴史と文化の郷であり、おいしいものとして佐野ラーメンやいもフライが有名です。

道の駅には自慢の本格中華料理の店「花と華」をはじめ、和洋食レストラン、手作りジェラート、たい焼き・たこ焼の店、焼きそば・豚まんの店、手作りパンなどおいしいお店がたくさんあります。

農産物直売所では、地元産の新鮮な野菜類やブランド米、おすすめの物産品が充実。特産品コーナーでは、全国から集められたバラエティに富んだこだわりの特産品が並んでいます。

イベントも盛りだくさんに企画し、夏には恒例の「おたけ屋敷」、冬には10万球以上が輝くガーデンイルミネーションを開催。音楽やパフォーマンスイベントなど、皆さんが楽しめるエンターテインメントが行われています。

## あしかがフラワーパーク



- 定休日 なし  
※開園時間は季節により変更
- 入園料 花の咲き具合により変動  
2013年10月26日～2014年1月26日  
※2013年12月31日は休園  
(イルミネーション夜間料金)  
大人 600円・小人 300円
- 問い合わせ あしかがフラワーパーク  
〒329-4216 足利市迫間町607  
TEL0284-91-4939  
http://www.ashikaga.co.jp/

大藤のイルミネーション (写真左)

藤色の花房は、春の時期を想像させます。風に揺らめく様はまるで本物のような見ごたえです。

スノーワールド (写真右)

西の山側を見上げてください!

▼アメジストセージ



▼バラ



栃木県足利市堀込町に早川農園として開園、1996年2月に大藤4本を現在地に移植しました。移植は日本の女性樹木医第1号である塚本こなみ氏によって行われ、日本で初めての成功例となりました。園内はフジ以外にも数多くの花々や植物で彩られていて、春か

ら秋にかけて市内外から数多くの来場者が訪れます。

目玉であるフジ(ノダナガフジ3本、八重黒龍1本、白フジのトンネル式)は栃木県天然記念物に指定され、これらが見頃となる4月中旬から5月中旬に「ふじのはな物語」と称する藤まつりが開催されます。この時期にはバスツアーが多く組まれたり、富田駅・足利市駅に停車する臨時列車が多く運行されます。

草花が停滞期とされている12月～1月はイルミネーション「光の花の庭」が開催されます。イルミネーション「光の花の庭」は、合計で約210万球を使った大規模なものであり、東京ドイツ村(千葉県袖ヶ浦市)・江の島「湘南の宝石」(神奈川県藤沢市)とともに、夜景観光コンベンション・ビューローが認定する「関東三大イルミネーション」に指定されています。

職場の“花”から“戦力”へ

## 頑張れ「ドボジョ」!



男の聖域といわれた土木業界に女性の進出が目立っている。名付けて「ドボジョ」。土木関係の職場で働く女性を最近はこちらで呼ぶ。少女マンガの主人公としても登場し、注目度は高まる一方だ。かつては職場の“花”のような存在だった女性社員が立派な“戦力”として活躍しているのである。株生駒組(本社・那須塩原市、生駒憲一社長)に勤務する藤田真由美さんもそんな「ドボジョ」の一人である。

専門学校で建築学を学び、就職活動の際、「設計をしたのなら現場を知らなければいけない」と、建設会社を勧められ、地元の建設会社に就職しました。

当時の社長はいかにも職人気質であり、ちょっと怖いイメージでしたが、見た目とは全く違い、とてもやさしく接してくれました。自分の仕事を誇りとし、納得のいくまで事に打ち込む性格で、手抜きや言い訳はせず、約束したことは無理してでも必ず守るという人でした。

一方、現場での仕事はとても厳しく、下請さんや職人さんにも怒られ、くじけそうになる時がたくさんありましたが、同僚や先輩に支えられ少しずつ成長することができました。

初めのころは、ヘルメットを被って現場にいと、職人さんたちに「びっくりしたな～!女の子かい?」と驚かれ、からかわれたりもしました。しかし、経験を重ねていくうちに、周りにも認めてもらい、今では、「マユねーさん」などと呼ばれています。

女だからと甘く見られたくないの、何でも率先して行うようにしています。体力で負けてしまう分、女性ならではの観点で物事を考え、行動することなどを心がけています。

一口に土木と言っても仕事はさまざまです。道路や橋、トンネルの建設、河川の整備やダム建設、上下水道・電気・ガス・通信設備など私たちの生活に直接関わってくるものから、空港や港湾施設の整備、公園や宅地の造成など、社会を支える縁の下の力持ち的な役割も担っています。

世間には「公共事業=悪」という考えを抱いている人もいるようで、残念でなりません。しかし、私たちが生活する上で必要不可欠な公共事業なのです。それを理解

してほしいと思います。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、那須地区にも大きな被害をもたらしました。復興作業は困難を極めました、地域の皆さんが



▲黒部ダムにて



▲心強い仲間たち

心から喜んでくれて、「ありがとう!建設屋さんを見直した」という感謝の言葉をいただいた時は、本当にうれしく、この仕事をしてよかったと思いました。

建設業は男性社会というイメージが強い職場です。しかし、2007年までは禁止されていたトンネル内での労働も可能になるなど、女性が胸を張って堂々と働ける環境になりつつある今、私たちのような建設業で活躍する女性は今後ますます増えていくと思います。近い将来、代理人表彰を女性技術者が受賞できる時がくるかもしれません。

これからも建設業の仕事に自信と誇りを持ち、そして少しでも地域に貢献できるように頑張っていきたいです。

株式会社 生駒組 工事部建築課 藤田真由美



▲女だからと甘く見られたくない



# 育て！未来の建設マン

## 総合学習支援活動

建設業に携わる青年経営者たちが県内各地の小学生や保護者を対象に、建設機械の搭乗体験や図面等による説明を通し、社会資本(道路・河川等)整備の重要性や建設業の魅力のアピールに努めています。



▲木造の模型を用いて、建物の耐震の仕組みについて学習しました。



▲砂場に砂を入れました。



▲真剣な表情で校庭を固めました。



▲足元が震える！建設業って危険！重要性を認識！



人の何倍もの仕事をする重機を使う建設業はすごい仕事！



▲タイヤローラの搭乗体験!!!



▲クラス対抗による「土のう運びリレー」。万が一の災害に備えて、子どもたちも災害訓練。



▲あっという間に掘れました。



▲重機搭乗体験  
タイヤを移動しました。

とち けん きょう  
「**栃建協**」 「栃建協」とは県内各地いたる所に根付く、建設業者の集まりで、地域の「安心」「安全」を守っています。

建設工事のご相談は、お近くの建設業協会各支部にお気軽にお問い合わせください。



 一般社団法人 **栃木県建設業協会**

〒321-0933 栃木県宇都宮市築瀬町1958-1

TEL.028-639-2611(代) FAX.028-639-2985 URL <http://www.tochiken.or.jp/>

- 宇都宮支部/TEL.028-636-5221
- 鹿沼支部/TEL.0289-65-2020
- 日光支部/TEL.0288-54-0140
- 芳賀支部/TEL.0285-82-2051
- 下都賀支部/TEL.0282-24-5420

- 塩谷支部/TEL.0287-43-0142
- 那須支部/TEL.0287-22-2124
- 烏山支部/TEL.0287-82-3161
- 安蘇支部/TEL.0283-24-3838
- 足利支部/TEL.0284-71-0044